

# 東京湾海況情報 12 - 3

平成 12 年 5 月 11 日  
 千葉県水産試験場 富津分場  
 〒293-0042 富津市小久保 3091  
 0439-65-3071

## 東京湾水質観測結果 (平成12年5月分)

資料：水質観測 (5/8 東京内湾：わかふさ 内房海域：第2ふさみ丸)  
 一都三県漁海況速報，東京湾口海況図，相模湾・伊豆諸島近海海況速報

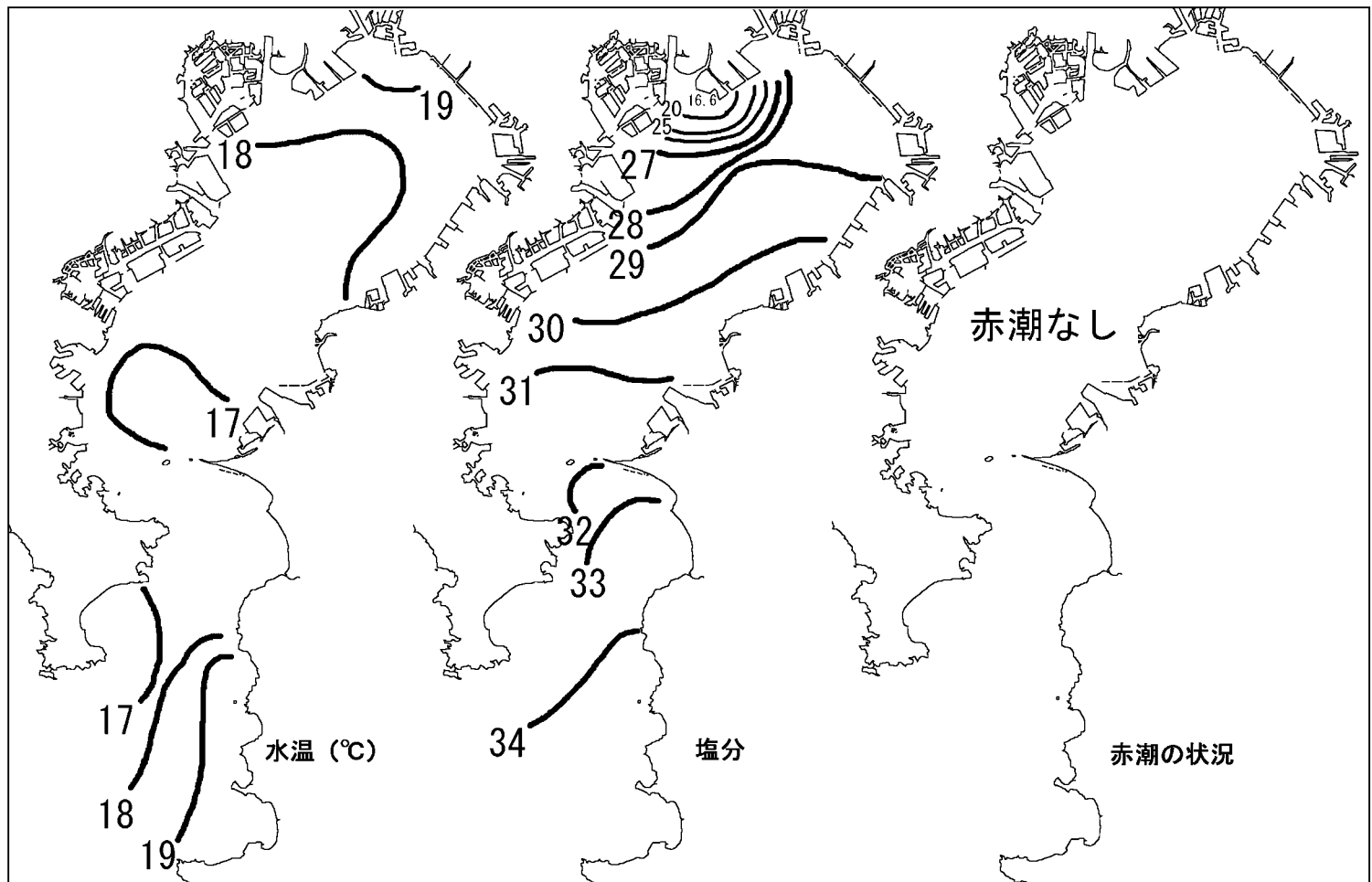


図1 表層の水温，塩分，赤潮の状況と底層のD O

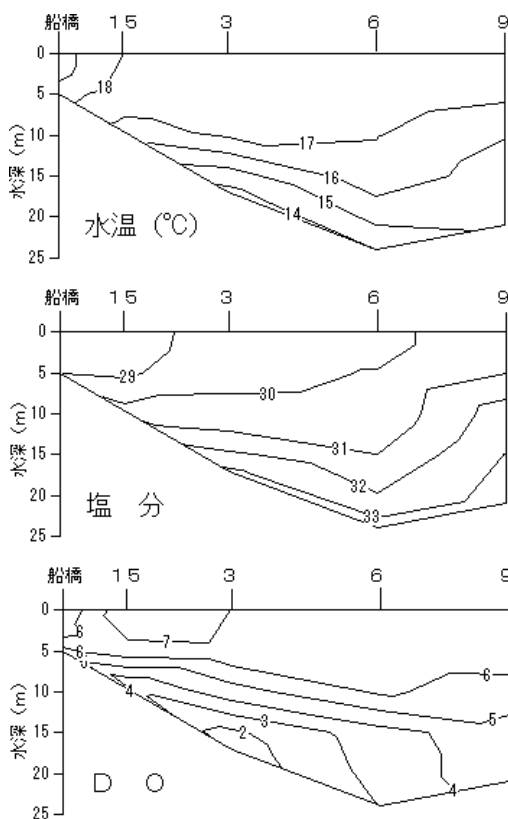


図2 内湾縦断面の鉛直分布

### 水温・塩分の状況 (図1, 2, 表1)

表層の水温は内湾，内房海域とも16～19 でした。塩分は湾奥西部で20以下の低塩分がみられます。

内湾縦断面の鉛直分布をみると水温13～19 台，塩分28～33です。

### 赤潮の状況 (図1, 3, 表1)

今回の観測では赤潮は確認されませんでした。前回までのノクチルカ (ヤコウチュウ *Noctiluca scintillas*) による赤潮も解消されています。

植物プランクトンの量の指標となるクロロフィルa量はほぼ全域で少なく2～18  $\mu\text{g/L}$  でした。湾奥西部でやや高めです。

内湾の主なプランクトンはメロシーラ (*Melosira* sp.)，ユーカンピア (*Eucampia zodiacus*)，リゾソレリア (*Rhizosolenia fragilissima*) などの珪藻類です。ノクチルカは内湾中央部から湾口部に分布しています。また湾中央部でディノフィシス (*Dinophysis* sp.) もみられました。

### 赤潮の目安

色：オリーブ～褐色

透明度：1.5m以下

クロロフィルa量：50  $\mu\text{g/L}$  以上

溶存酸素の飽和度：150%以上

pH：8.5以上

低酸素水塊の状況 (図2, 4)

内湾で低酸素水塊が形成されています。底層分布で見ると内湾中央部西側を中心に溶存酸素量(DO)が2ml/L以下の海域が広がっています。

内湾縦断面の鉛直分布ではst.15, 3, 6付近の底層で2~3ml/L台でした。

水試では2.5ml/L(酸素飽和度50%)以下を低酸素水としています。漁業種類によってはそれ以上でも影響がでる場合もありますので注意してください。

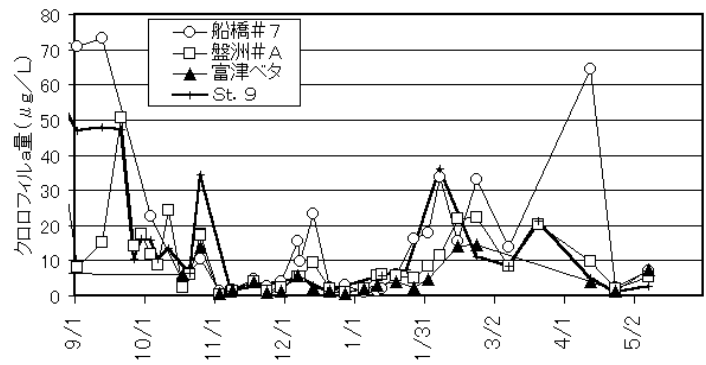


図3 クロロフィルa量の変化

表層の栄養塩類 (表1)

溶存無機態窒素(DIN)は内湾で400~600 µg/L台と高め、内房で20~200 µg/L台と低めです。とくに保田沖以南で低くなっています。

リン酸態リンは1~28 µg/Lと全体で低めです。

黒潮の動き (図5)

5月10日の一都三県漁海況速報によると、黒潮は伊豆諸島の御蔵島付近で蛇行し、房総半島にも接岸しています。東京湾・相模湾への影響が予想されます。今後の動きに注意してください。

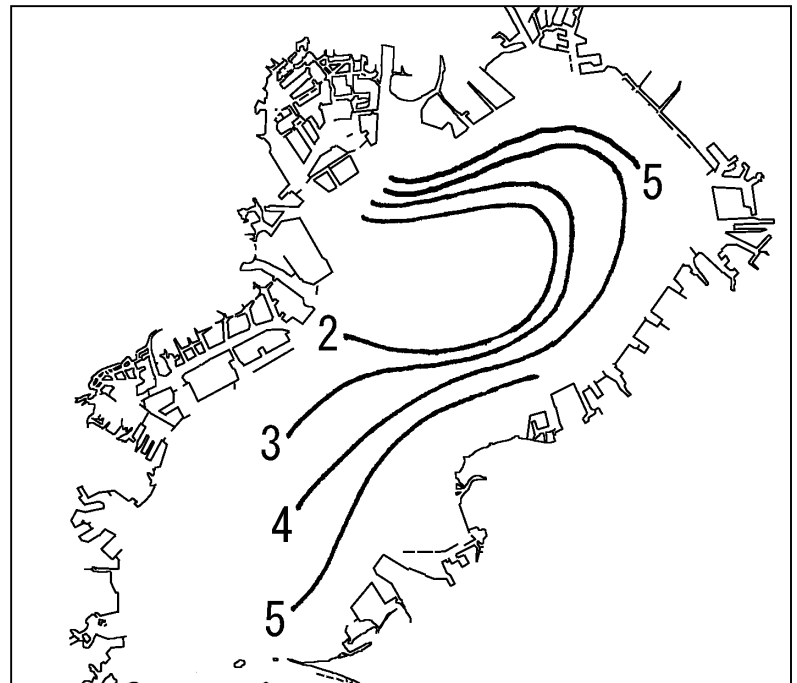


図4 底層のDO分布(ml/L)

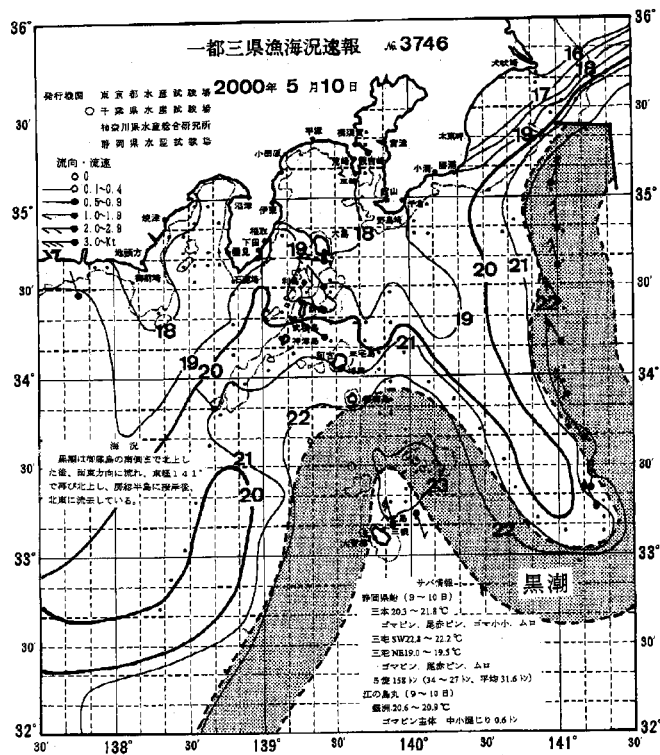


図5 黒潮の動き